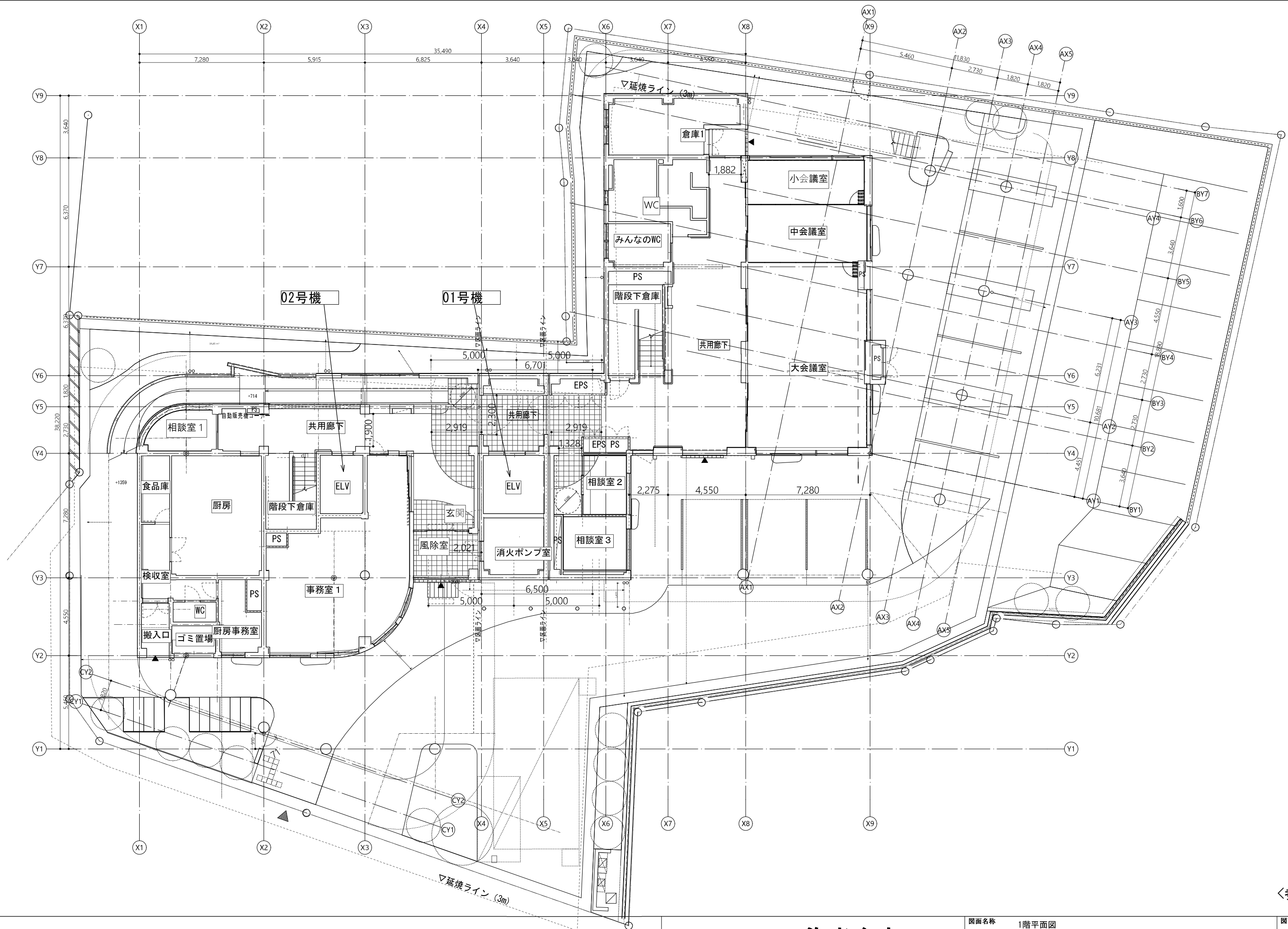
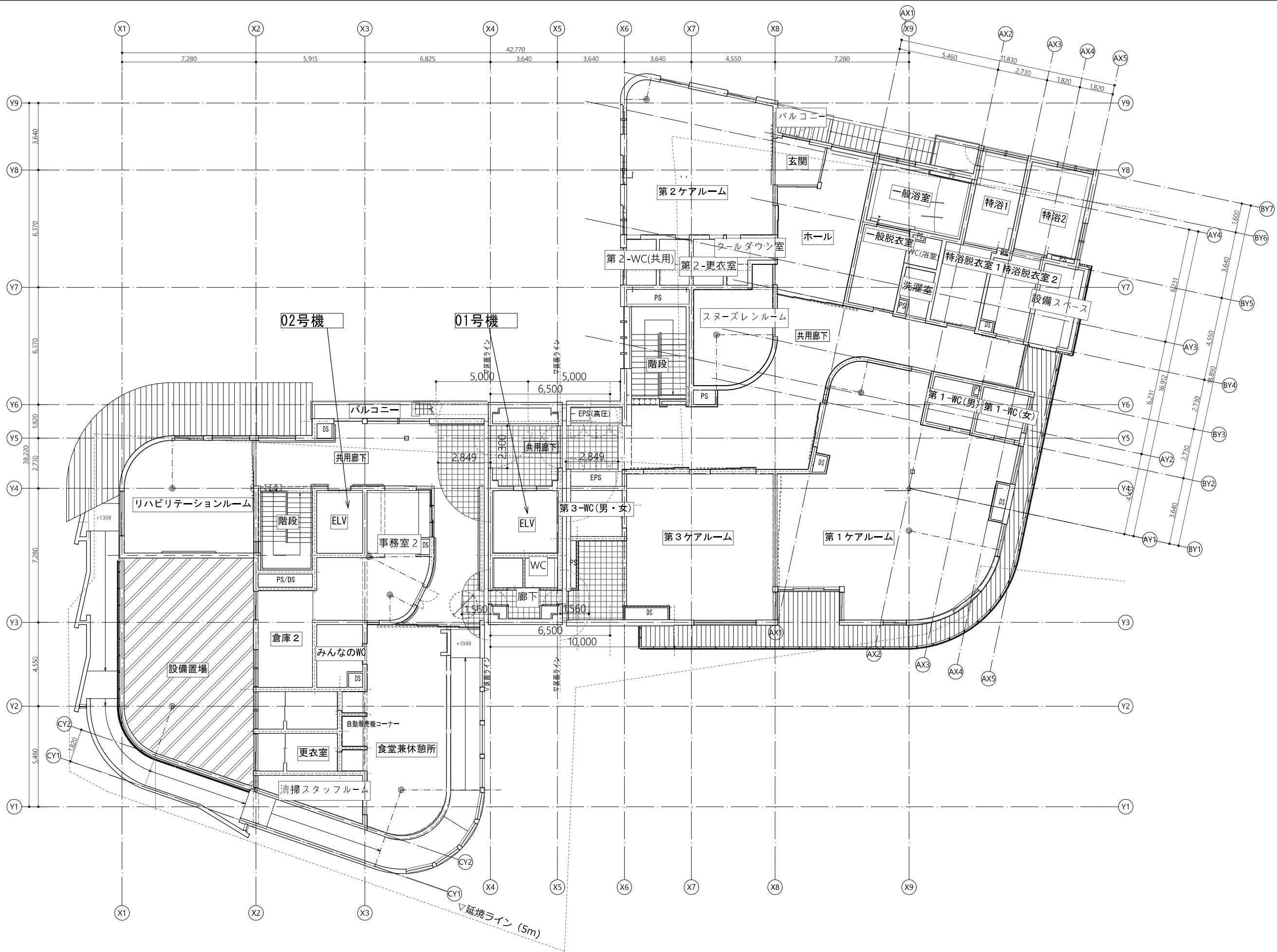
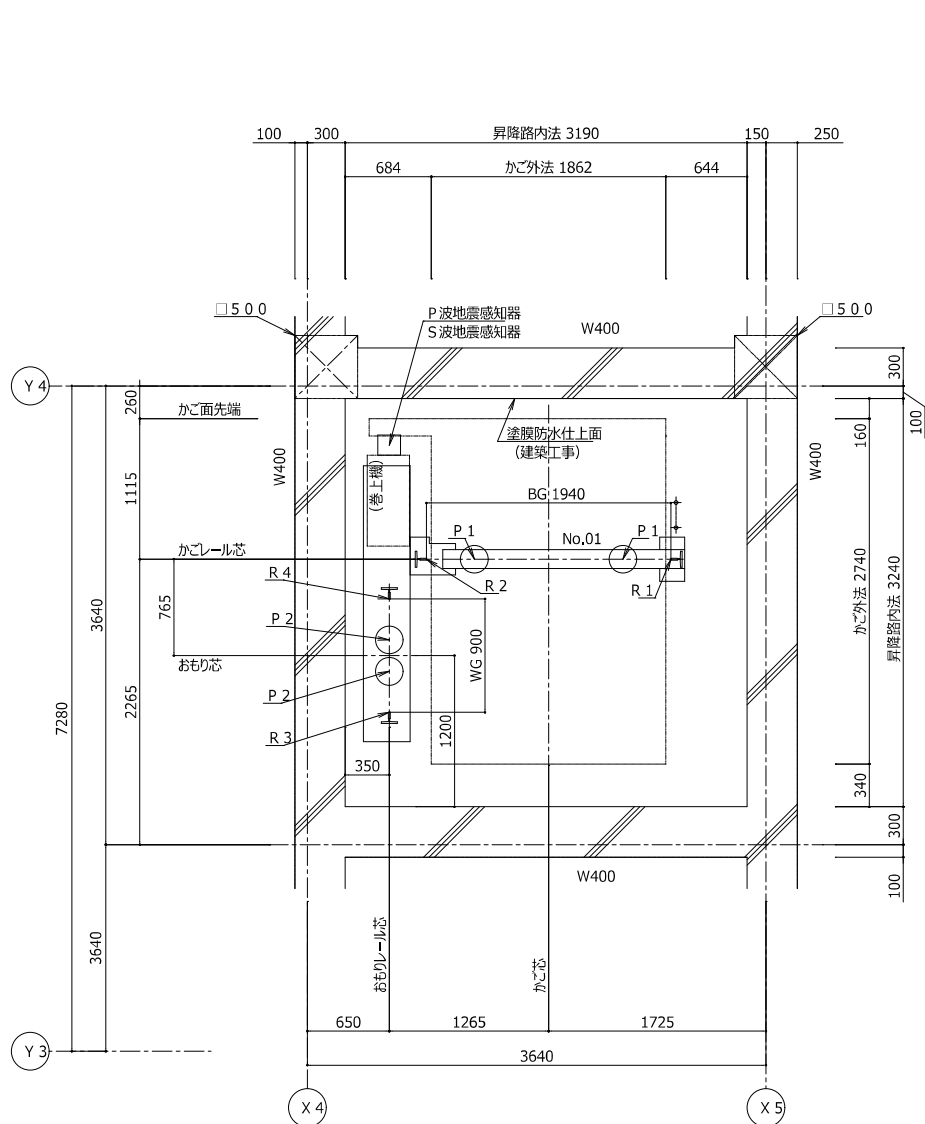




〈参考図1〉



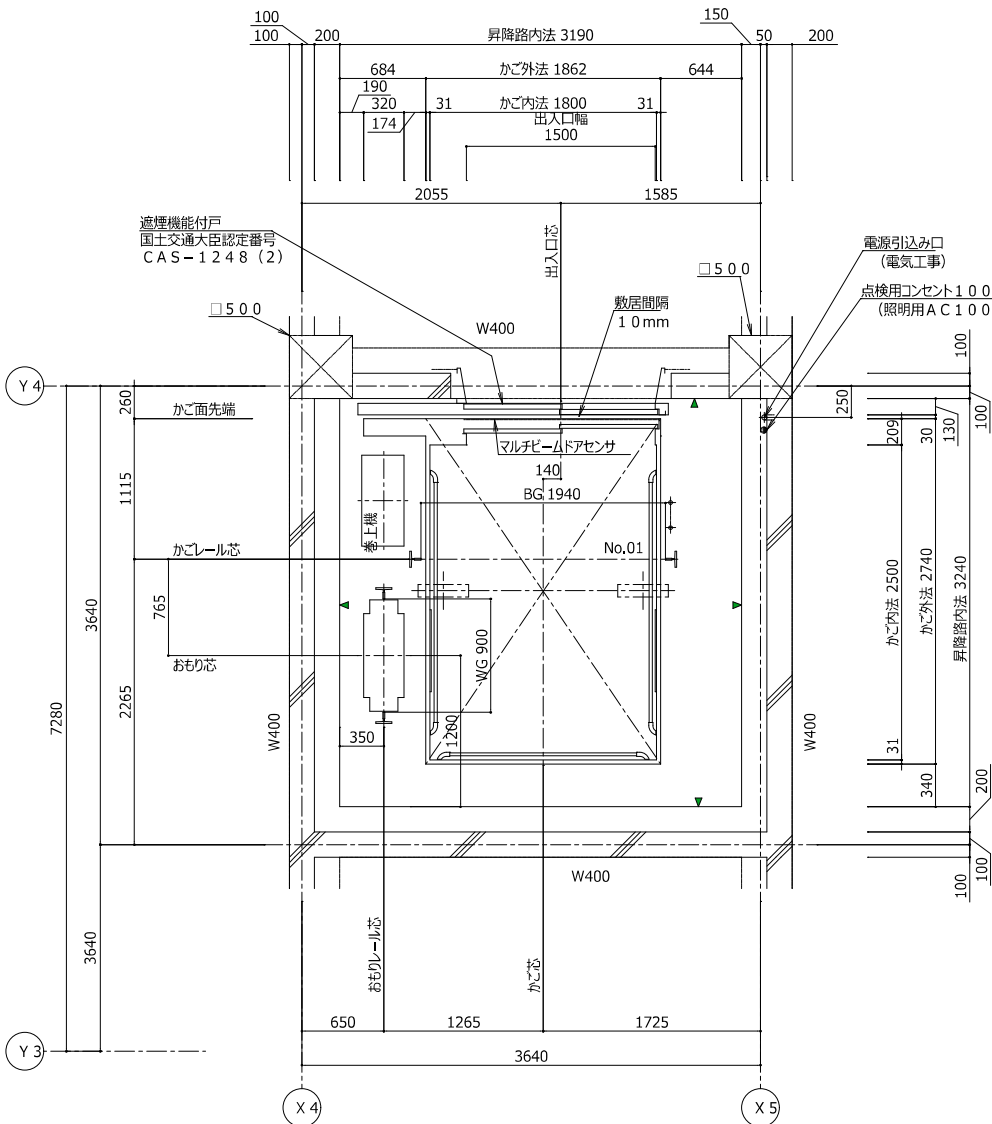
〈参考図2〉



昇降路平面図 (1/30)
(ピット)

ピット荷重 (短期荷重)		レール下端部荷重 (長期荷重)			
P 1 (kN)	P 2 (kN)	R 1 (kN)	R 2 (kN)	R 3 (kN)	R 4 (kN)
82.0	68.0	49.0	41.0	53.0	58.0

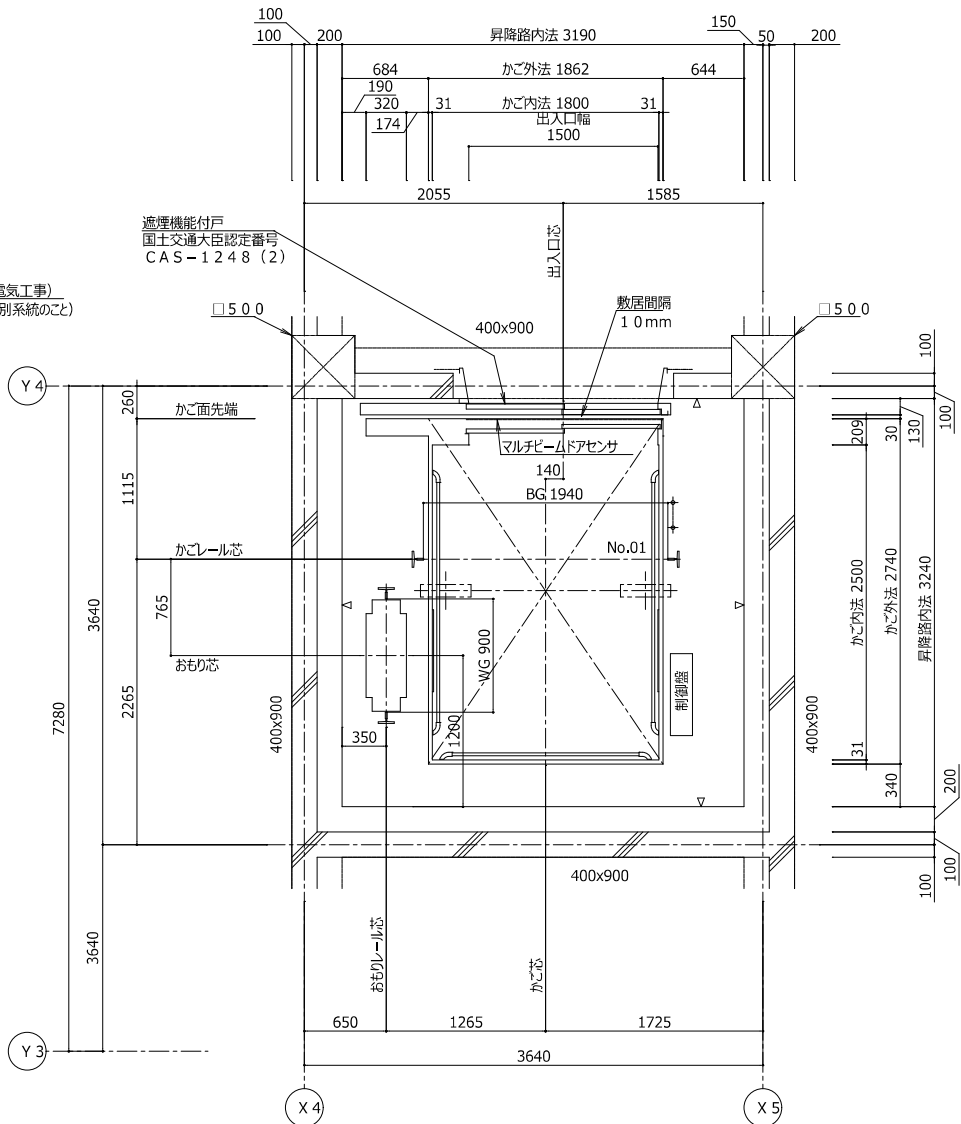
ブラケット取付のため、ピット内の壁または梁は、最下階 F L 面まで立ち上げる。 (建築工事)	昇降路機器はピット底面・側面、梁・壁に、あと施工アンカーにより取付を行う。
---	---------------------------------------



昇降路平面図 (1/30)
(1階)

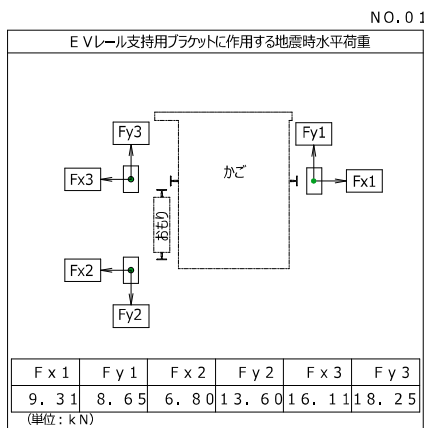
▲:ピット仕上面を示す

昇降路壁はブラケット取付部の為埋設配管・配線は不可



昇降路平面図 (1/30)
(2階)

▽:梁面を示す



注:上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が5mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付ること。

動力電源設備 (C V T電線使用時)

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側 N F 容量	感度電流値*) 動作時間	電線サイズ	接地線サイズ
01	AC 3φ 200V 50Hz	5.9kW	6kVA	50AT	200mA以上 0.2秒以上	4.2mまで 8mm ² 7.3mまで 14mm ² 11.2mまで 22mm ²	3.5mm ²

照明用電源 AC 1φ 100V 50Hz (設備容量 1kVA/台 電源側 NF 容量 20AT/台) (*) 電源側に漏電遮断器を設置する場合

高調波対策 (高調波流出電流計算値)

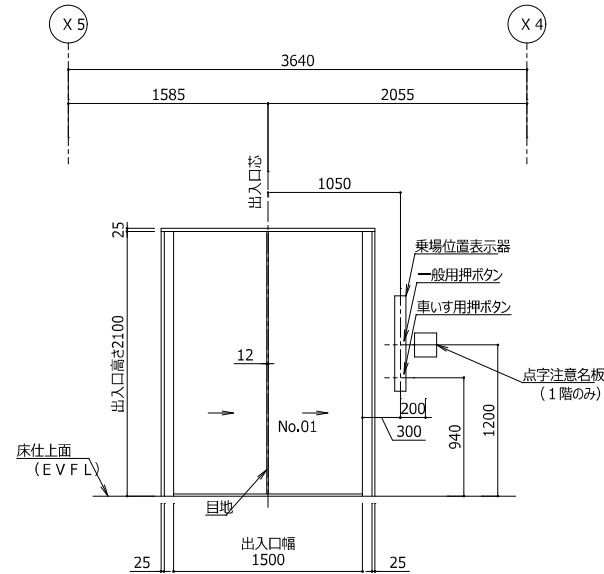
高調波対策内容	機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 P i (kVA)	回路分類 細分 No.	6/10ス 換算係数 (K i)	6/10ス等価 容量 [K i P i] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率 I n (%)							
									5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
ノイズフィルタのみ (標準)	01号機 AXIEZ(1150kg-45m/min)	7.4	1	7.4	31	3.4	25.1	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
○ ACリアクトル追加 (Ki=1.4相当)					10	1.4	10.4	25	31	8.7	6.2	3.3	2.3	1.9	1	1

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

※ 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

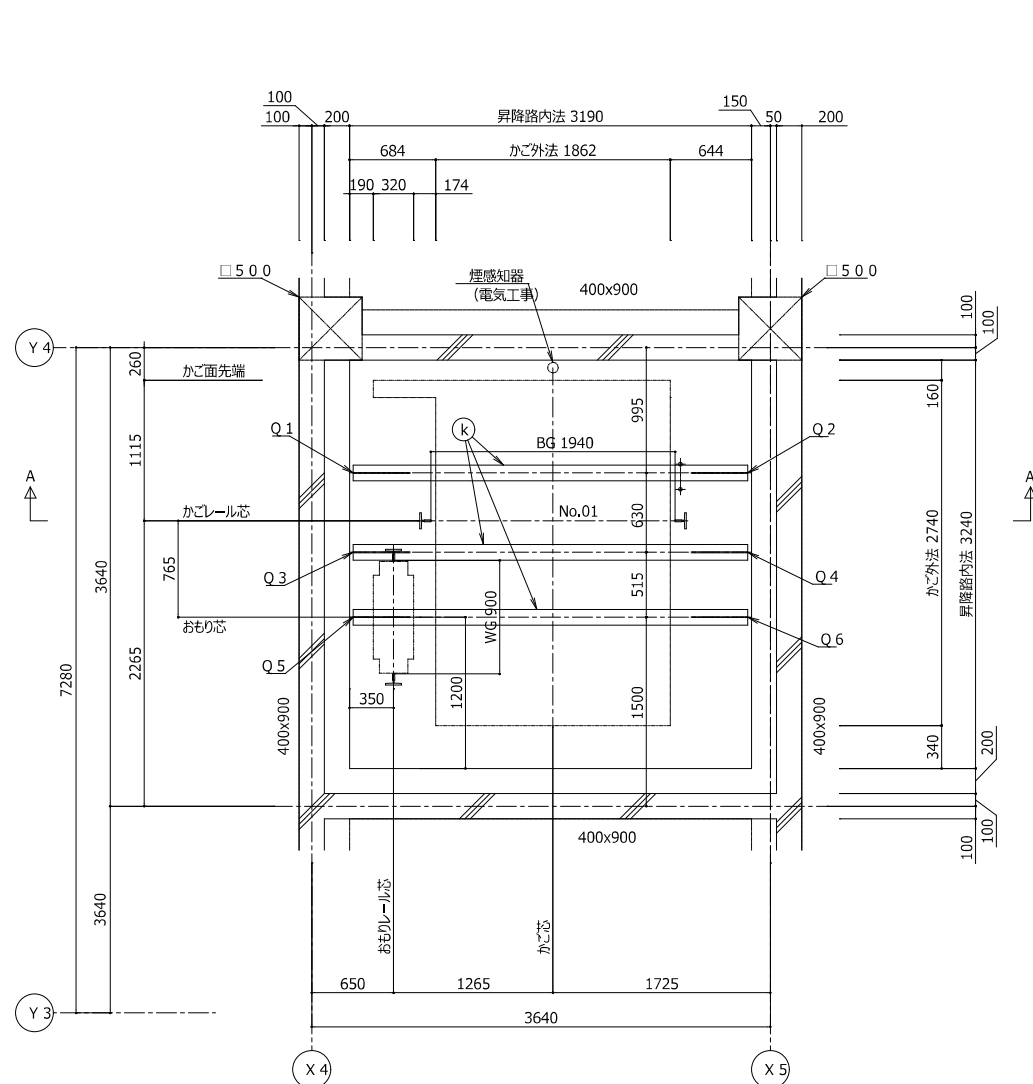
$$\text{各次数毎の高調波流出電流量 (mA)} = \frac{\text{合計容量 } P_i \text{ (kVA)}}{\text{受電電圧 (kV)} \times \sqrt{3}} \times 10^3 \times \text{各次数毎の発生率 } I_n \text{ (\%)} \times \text{機器最大稼働率 } k \text{ (\%)}$$

- (電気工事)
- 電源引き込み口 (最下階天井付近)
- 動力用 AC 3φ-200V-50Hz
- 照明用 AC 1φ-100V-50Hz
- D種接地工事
- ・インターホン用配管配線工事
- ・CPEV-0.9×5P
- ・火災警報用配管配線工事
- ・自火報より無電圧 a 接点支給 (接点定格 DC 24V)
- ・遠隔監視用配管配線工事
- ・PVC-0.65×4C
- ・カゴスビーカー用配管配線工事
- ・HP1.2mm×3C
- ・無電圧 A 接点支給 (接点定格 DC 24V)
- ・エレベーター安全回路動作時・閉込時・インターホンボタン押下時
- ・CPEV0.9×1P
- ・浸水時警報用配管配線工事
- ・建物側より無電圧 a 接点支給 (接点定格 DC 24V)
- ・電源線引出し長さ 天井高さ+650.0mm

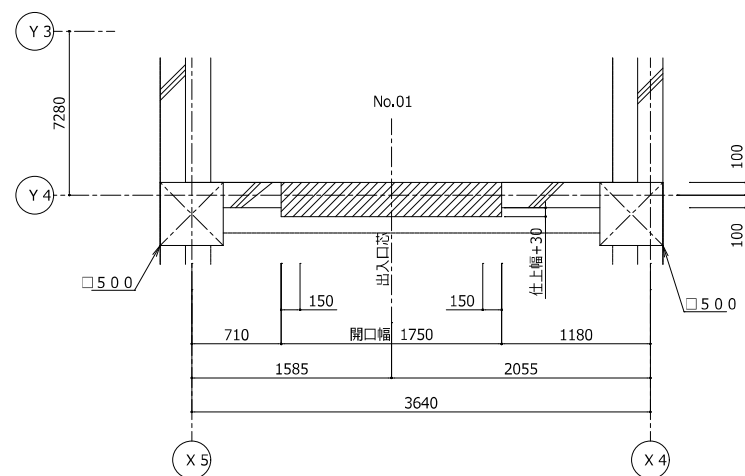


乗場正面図 (1/30)
(No. 01号機)
(1, 2階)

<参考図3>

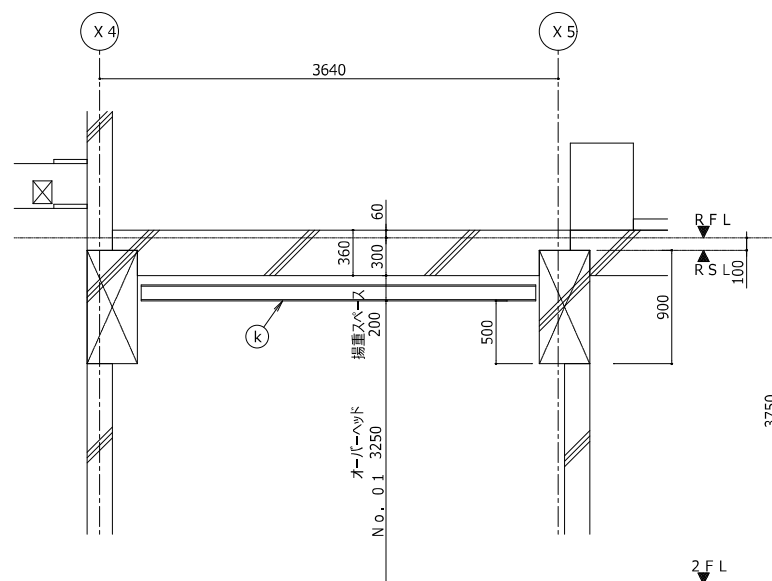


昇降路平面図 (1/30)
(頂部)



昇降路穴あけ図 (1/30)
(1, 2階)

 FL-30

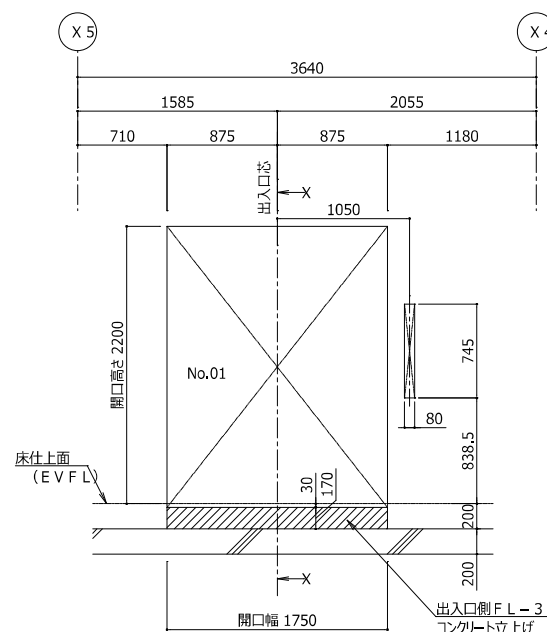


升降路頂部断面図 (1/30)

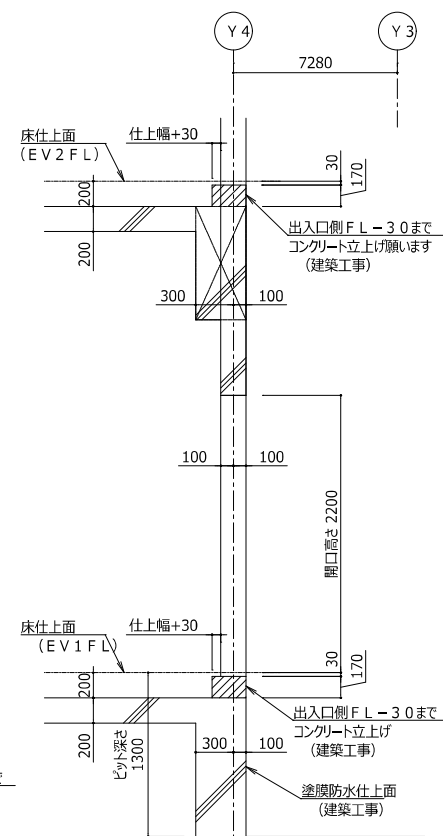
部材 記号	名 称	部 材	工事区分
k	揚重ビーム (ビーム残し)	H-125×125×6, 5×9	建築工事

揚重ビームに掛かる荷重 No. 01

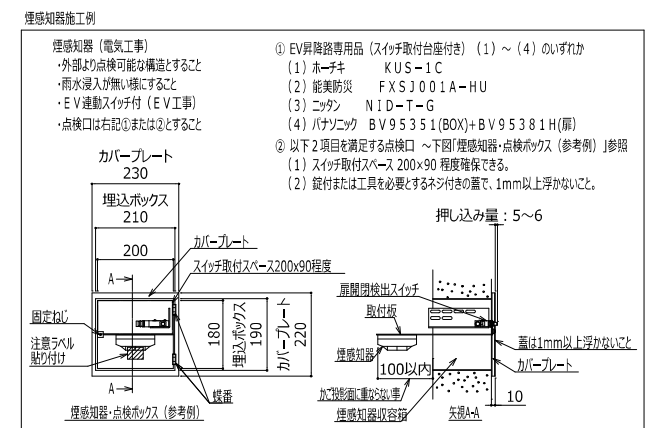
Q1 (kN)	Q2 (kN)	Q3 (kN)	Q4 (kN)	Q5 (kN)	Q6 (kN)
53.0	20.0	20.0	23.0	53.0	20.0



乗場穴あけ図 (1/30)
(No. 01号機)
(1, 2階)



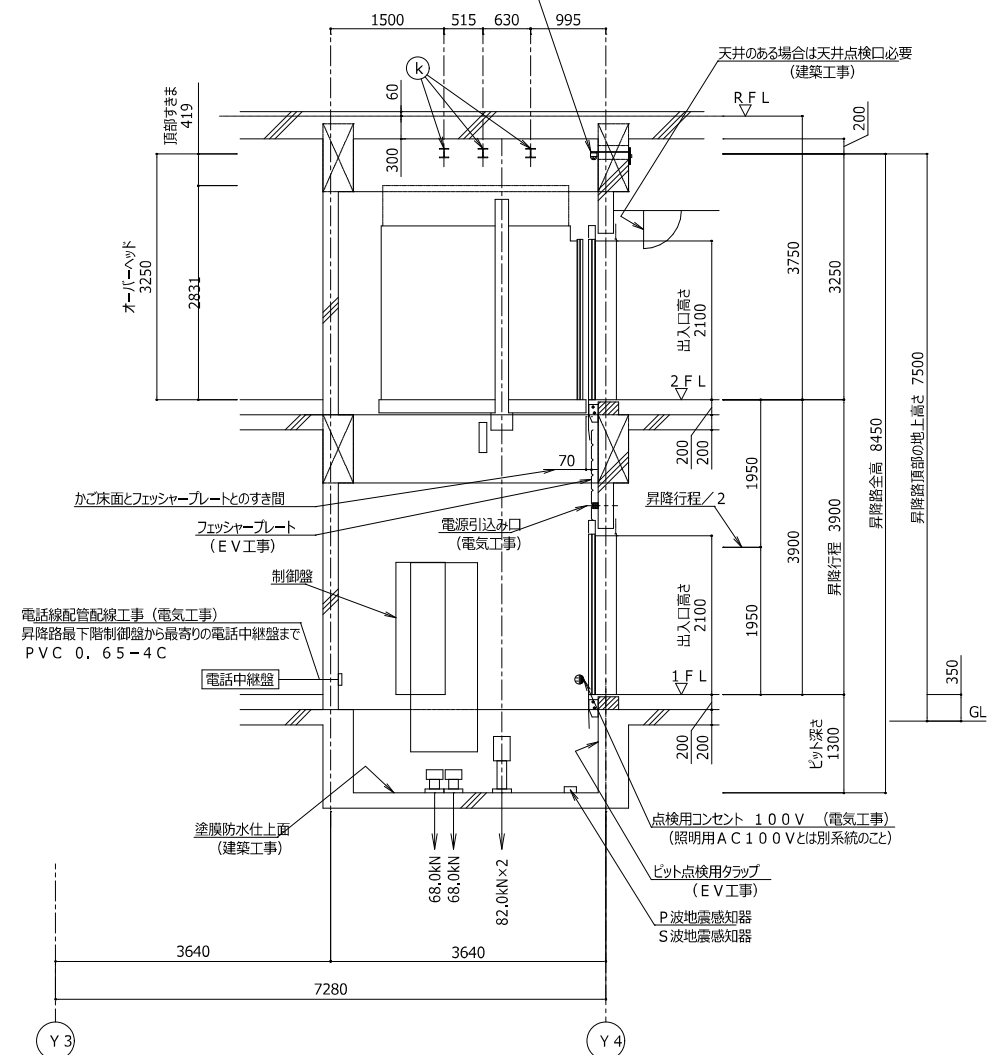
X-X断面



煙感知器（電気工事）※煙感知器施工例を参照のこと

- ・外部より点検可能な構造とすること
- ・雨水浸入が無い様にすること
- ・点検口は錠付または工具を必要とする
ネジ付とすること
- ・E V運動スイッチ付（E V工事）
- ・点検口サイズはスイッチ取付スペースを考慮すること
（300□以内、鋼板1.6t）

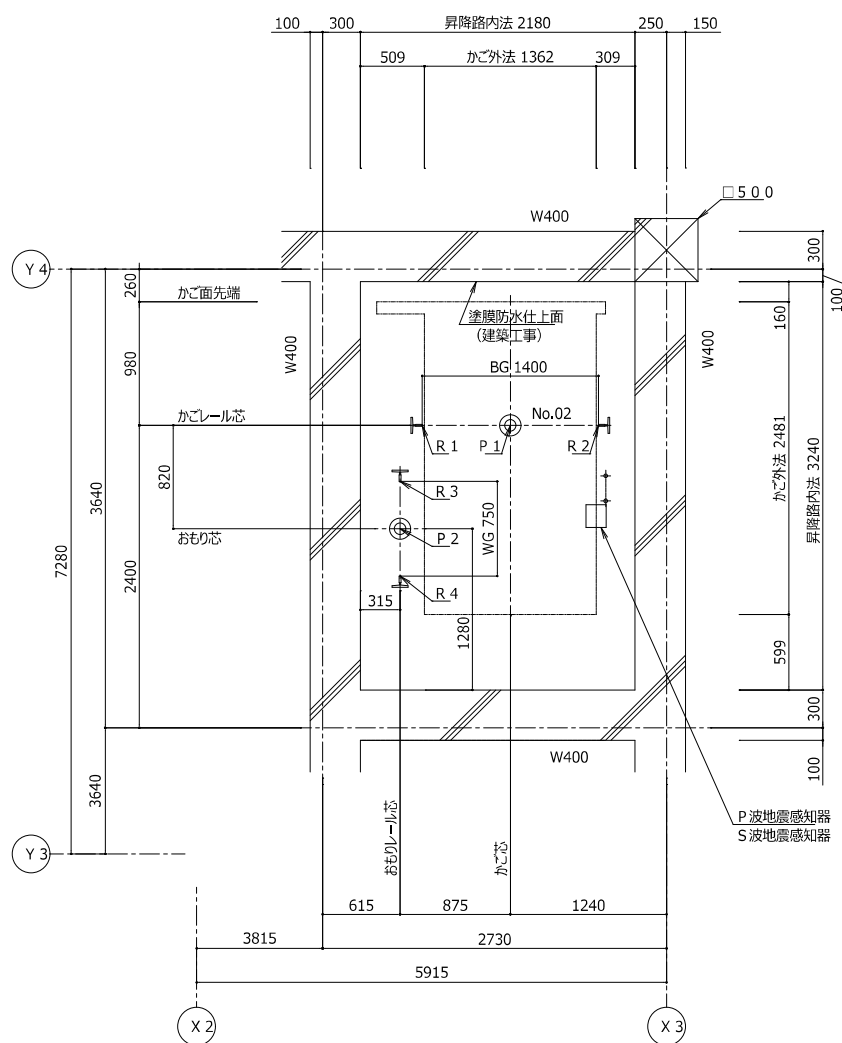
昇降路内の温度は40℃以下とする



升降路断面図 (1/50)
(NO. 01)

ブラケット取付のため、
ピット内の壁または梁は
最下階F.L.面まで立ち上
げ（建築工事）

図面は塗膜防水仕上後の有効寸法。
モルタル防水仕上の場合は仕上厚を考慮すること



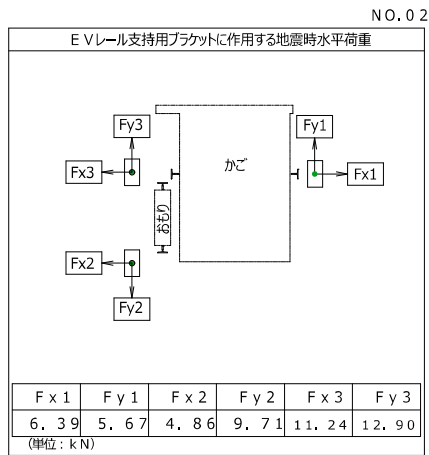
昇降路平面図 (1/30)
(ピット)

ブラケット取付のため、
ピット内の壁または梁は
最下階F.L面まで立ち上
げること（建築工事）

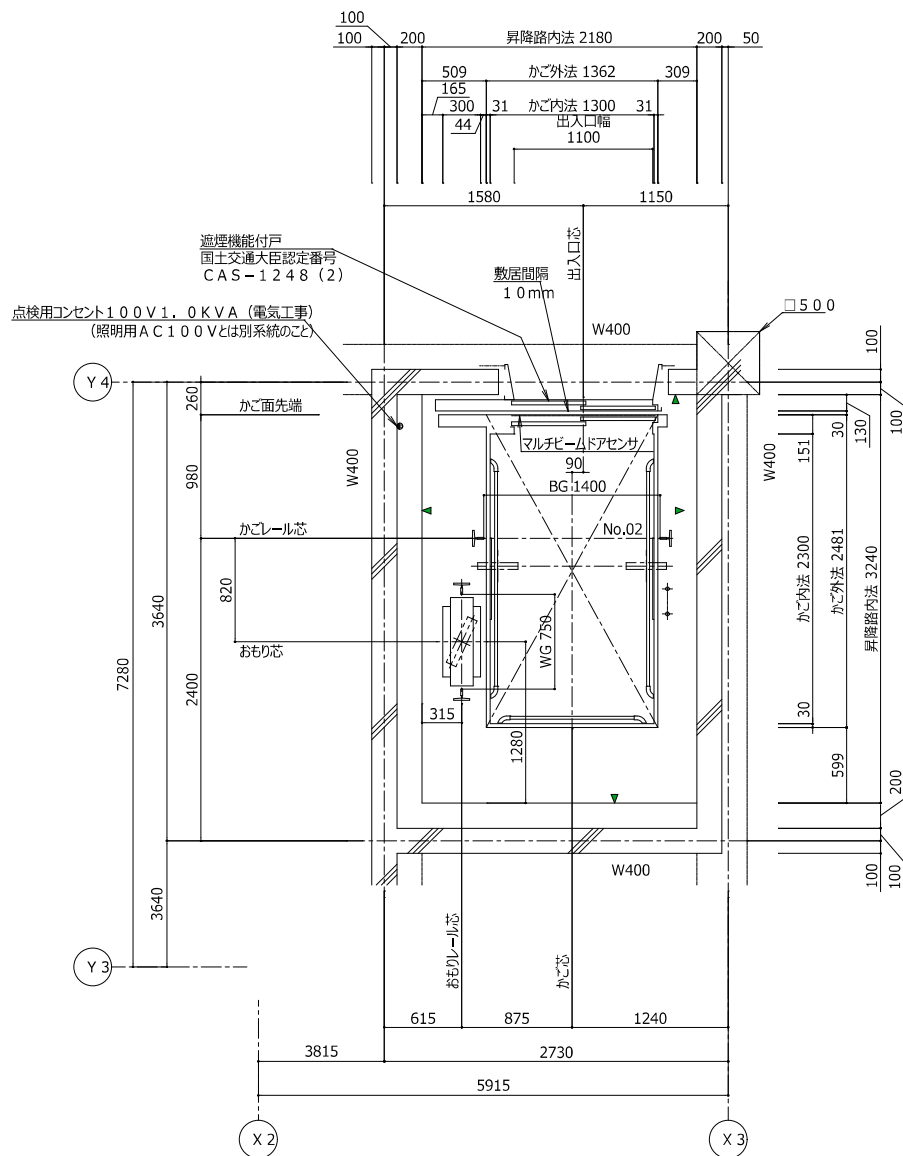
昇降路機器はピット底面・側面、
梁・壁に
あと施工アンカーにより取付を行う

ピット荷重 (短期荷重)	
P 1 (kN)	P 2 (kN)
90.5	78.7

レール下端部荷重（長期荷重）			
R1（kN）	R2（kN）	R3（kN）	R4（kN）
3.6	27.4	51.8	22.4

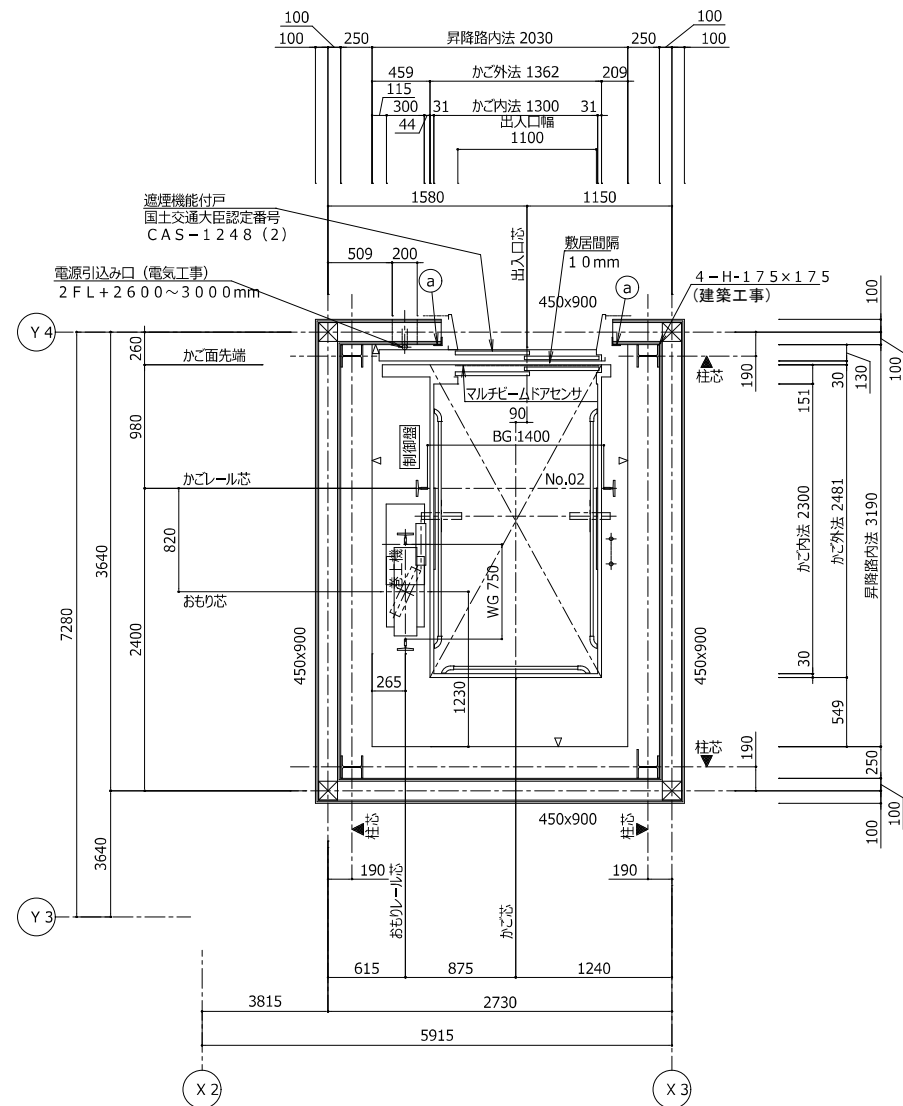


注：上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が5 mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付ること。



昇降路平面図 (1/30)
(1階)

▲ :ピット仕上面を示す



昇降路平面図 (1/30)
(2階)

△ : 梁面を示す

部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-65×65×6	建築工事

(電氣工事)

電源引込み口 (2FL+2600~3000)

動力用AC3φ-200V-50Hz

照明用AC1φ-100V-50Hz

D種接地工事

・インターホン用配管配線工事
C B E V 6 6 6 5 B

CPEV-0.9×5P
小口径控制用配管配管組

・火災管制運転用配管配線工事
自火報知無電圧、接点供給、

・遠隔監視用配管配線工事

$$PVC = 0.65 \times 4C$$
$$\underline{FVC = 0,05 \times 40}$$

・かご内防犯カメラ用配管配線工事

同軸ケーブル 5C-2V

(両端をBNCプラグコネクタで端末処理の事)

・カゴ上スピーカー用配管配線工事

HP 1. 2mm×3C
無電圧A 培卡主給 (培卡字格)

・無電圧A接点支紹（接点定格DC24V）
 TLペーパー安全回路動作時、閉入時、公約

CPREV 0 9x1 P

• 湯水時管制運転用配管配

建物側より無電圧 a 接点支給 (接

・電源線引出し長さ 7000mm

電話部 川口部長 70001111

動力電源設備（C V T電線使用時）

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側 N F 容量	感度電流値 ^{*)} 動作時間	電線サイズ	接地線サイズ
02	AC3φ200V 50Hz	3.8kW	4kVA	40AT	100mA以上 0.2秒以上	82mmまで 8mm ² 142mmまで 14mm ² 216mmまで 22mm ²	3.5mm ²

照明用電源AC1φ100V 50Hz（設備容量1kVA/台 電源側NF容量20AT/台）（*）電源側に漏電遮断器を設置する場合

高調波対策（高調波流出電流計算値）

高調波対策内容		機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 P (kVA)	回路分類 細分 No.	6パルス 換算係数 (K1)	6パルス等価 容量 [K×P] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率 In (%)							
										5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
○	ノイズフィルタのみ (標準)	02号機 AXIEZ-LINKs(750kg-45m/min)	4.8	1	4.8	31	3.4	16.2	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
	33					1.8	8.6	25	30	13	8.4	5	4.7	3.2	3	2.2	

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

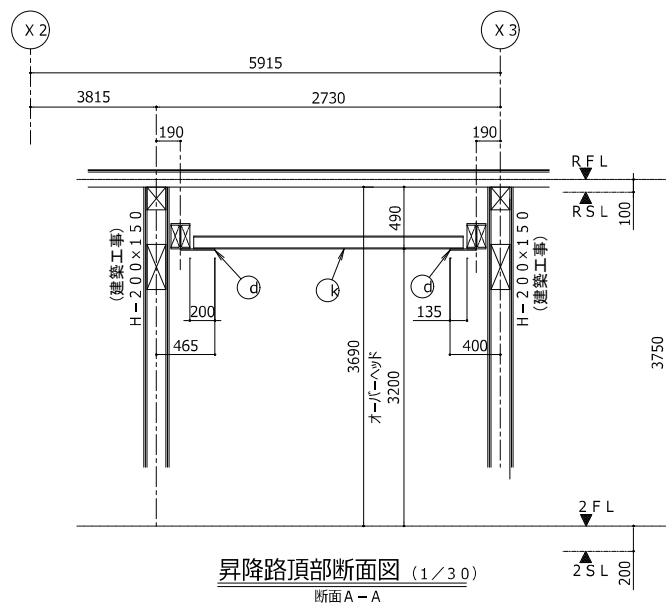
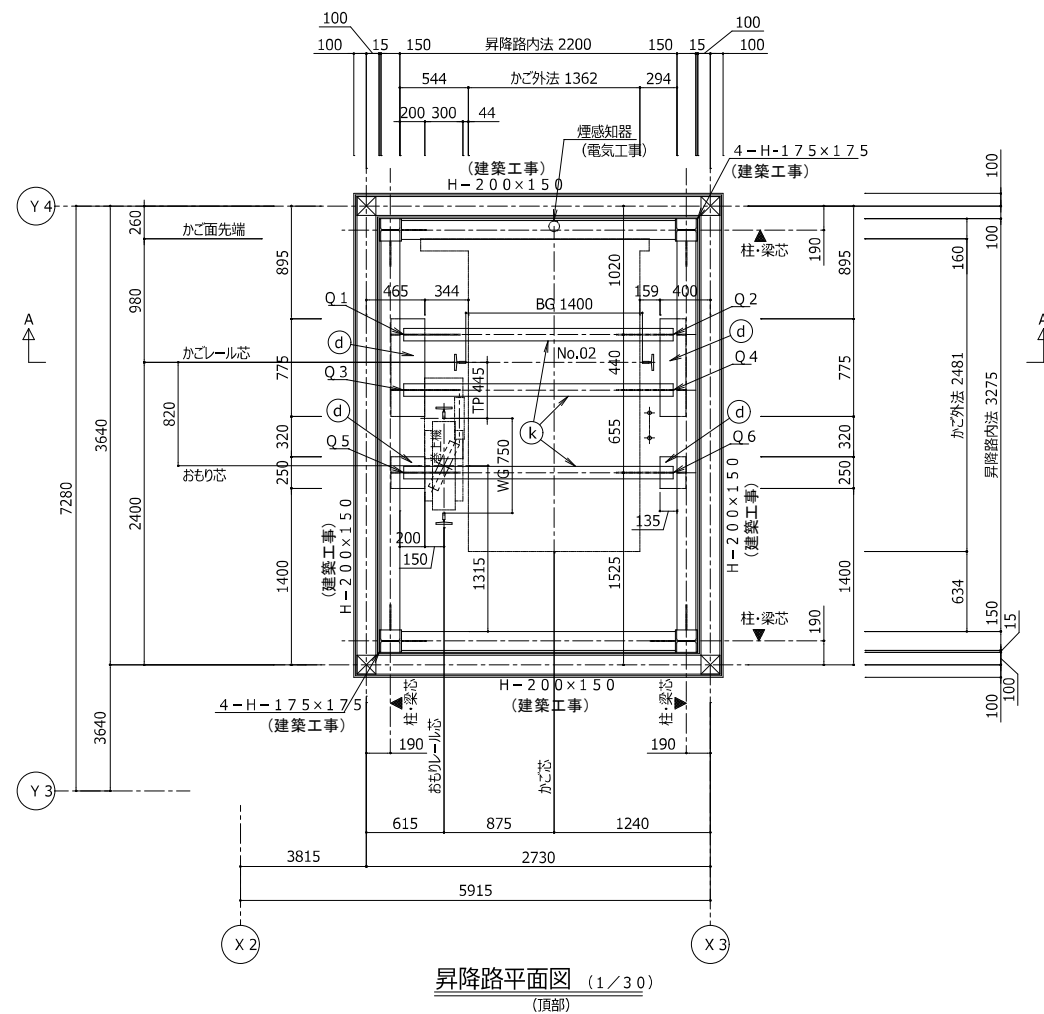
※ 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

$$\text{各次数毎の高調波流出電流量 (mA)} = \frac{\text{合計容量 P i (kVA)}}{\text{受電電圧 (kV)} \times \sqrt{3}} \times 10^3 \times \text{各次数毎の発生率 I n (\%)} \times \text{機器最大稼働率 k (\%)}$$

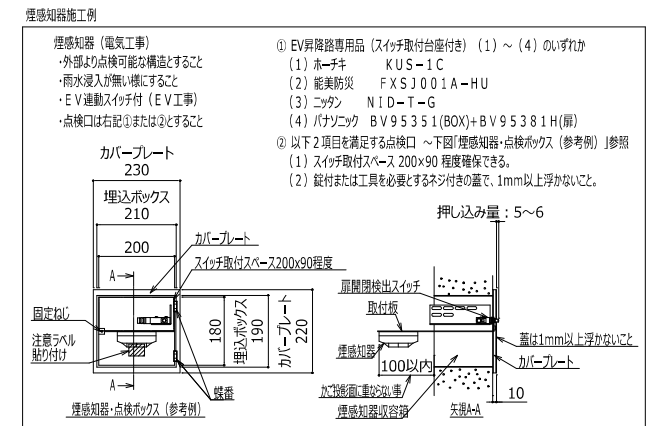
揚重ビームに掛かる荷重 No. 02

Q1 (kN)	Q2 (kN)	Q3 (kN)	Q4 (kN)	Q5 (kN)	Q6 (kN)
9.0	3.0	9.0	12.0	17.0	11.0

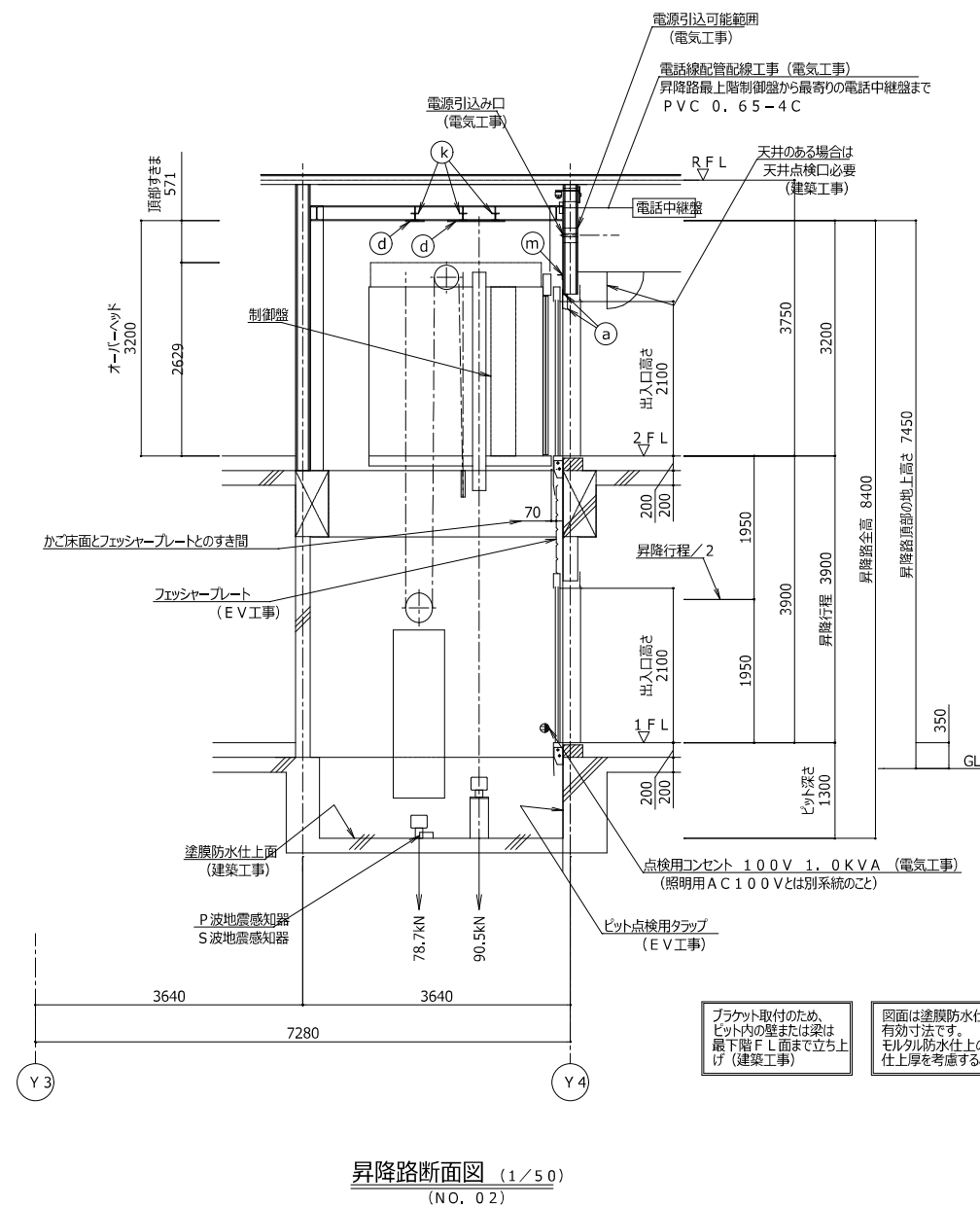
Q1～Q6はEV据付時に作用する



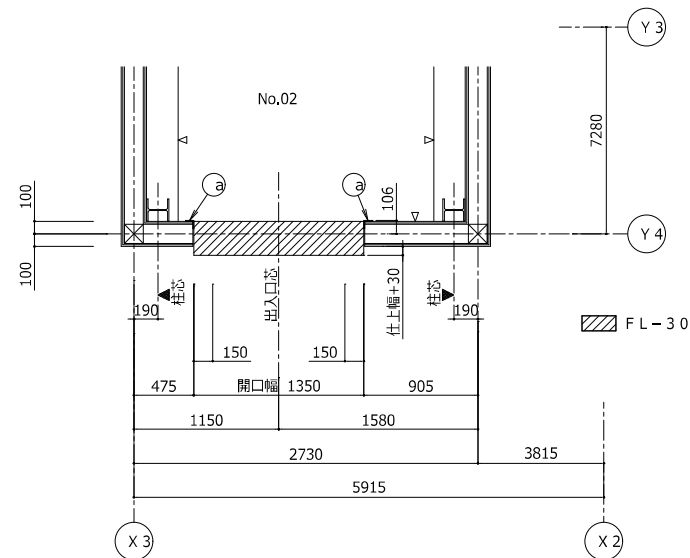
部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-65×65×6	建築工事
d	揚重ビーム取付用フッスナー（リブ付）	PL-112	建築工事
k	揚重ビーム（ビーム残し）	H-100×100×6×8	建築工事
m	ハンガーケース取付材	L-65×65×6	建築工事



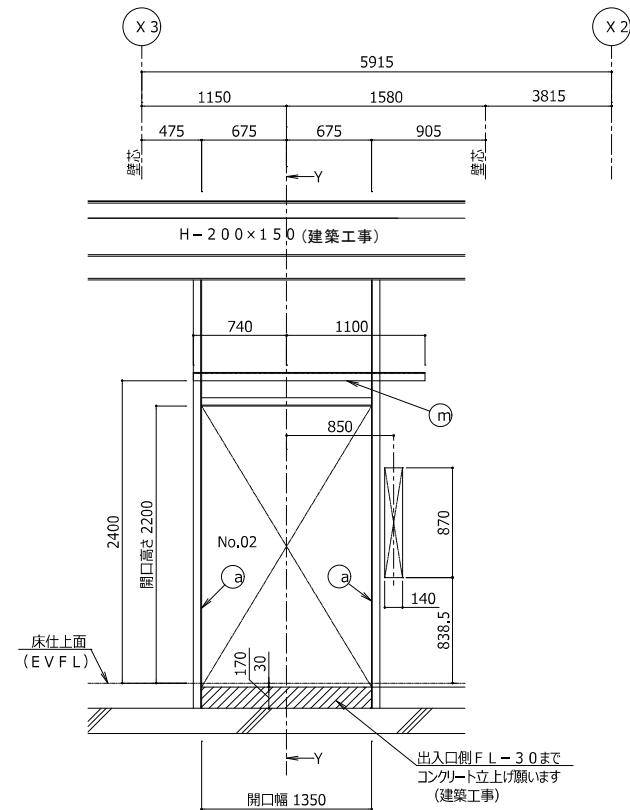
昇降路内の温度は40℃以下とする



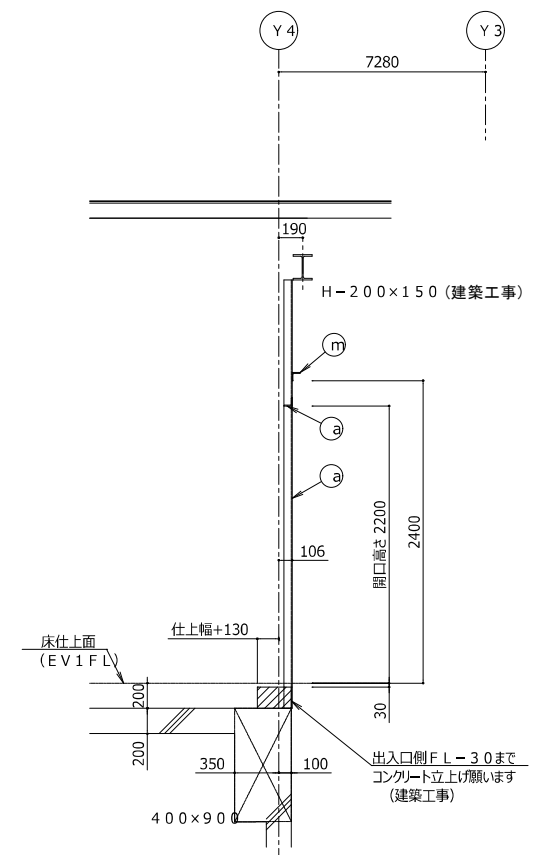
〔参考図6〕



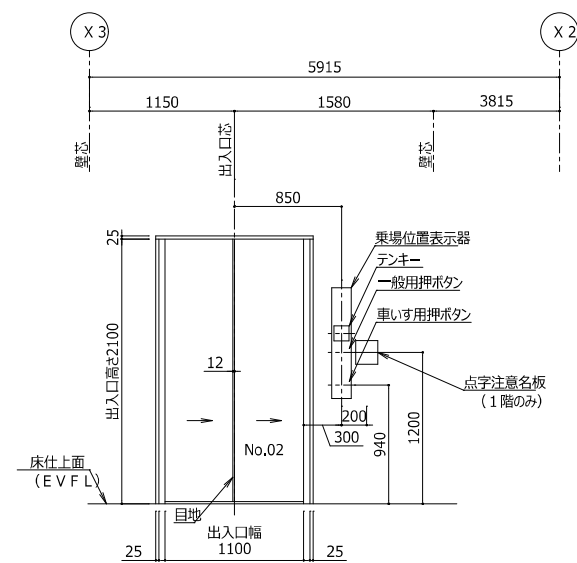
昇降路穴あけ図 (1/30)
(2階)
△:梁面を示す



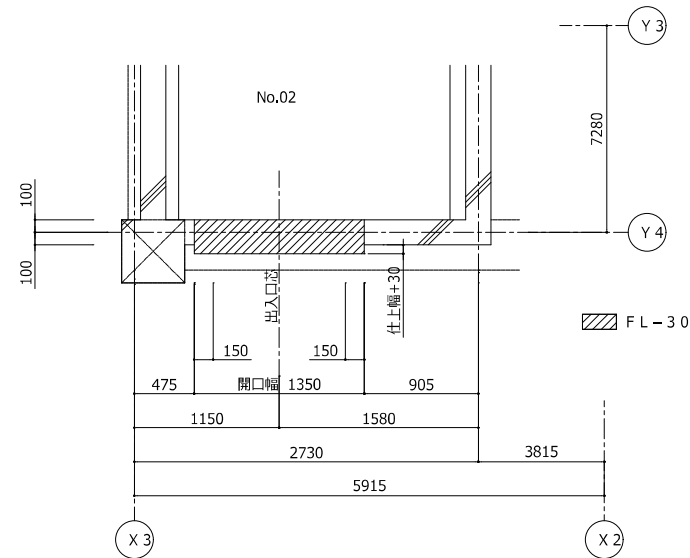
乗場穴あけ図 (1/30)
(No. 02号機)
(2階)



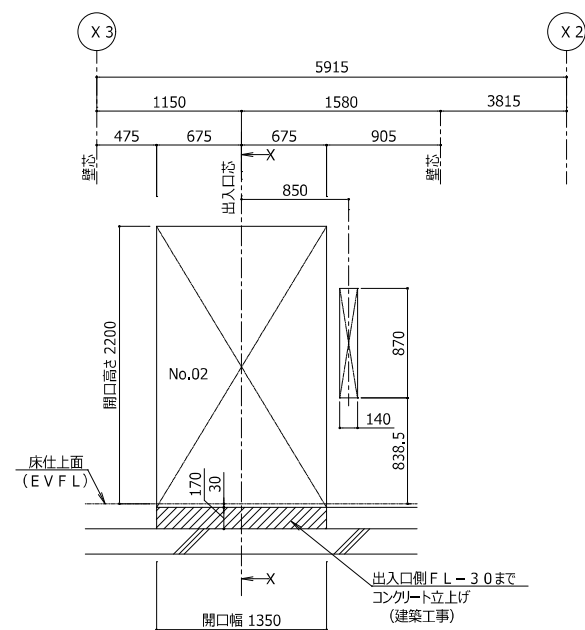
Y-Y断面



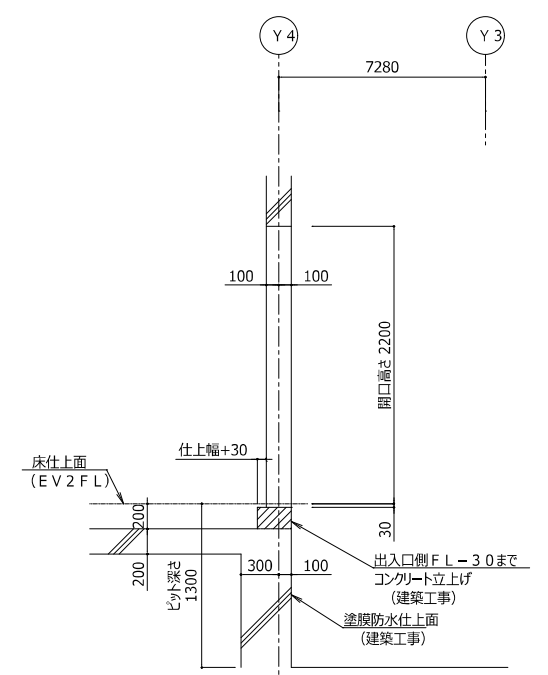
乗場正面図 (1/30)
(No. 02号機)
(1、2階)



昇降路穴あけ図 (1/30)
(1階)
▲:ピット仕上面を示す



乗場穴あけ図 (1/30)
(No. 02号機)
(1階)



X-X断面

部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-65×65×6	建築工事
m	ハンガーケース取付材	L-65×65×6	建築工事

〈参考図7〉